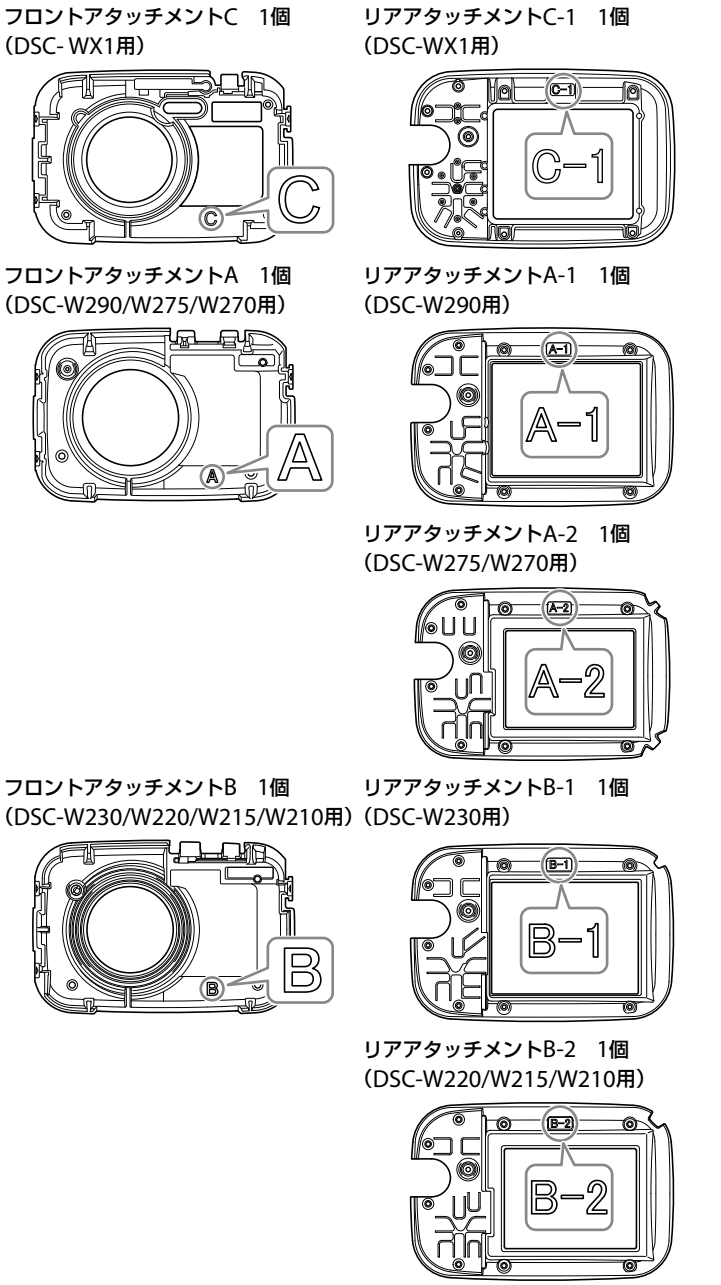


準備

アタッチメント形状



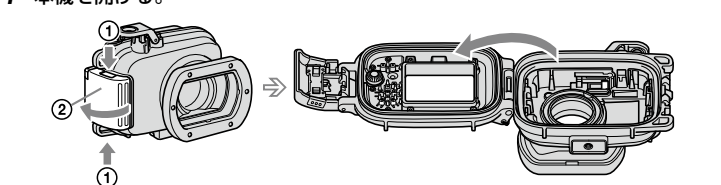
機種	フロントアタッチメント	リアアタッチメント
DSC-WX1	C	C-1
DSC-W290	A	A-1
DSC-W275/W270	A	A-2
DSC-W230	B	B-1
DSC-W220/W215/W210	B	B-2

アタッチメントを取り換える

以下の手順は、DSC-WX1/W230を使用して説明しています。アタッチメントを取り換える際は、無理な力を加えないでください。

*** お買い上げ時は、DSC-WX1用にアタッチメントを取り付けてありますので、DSC-WX1をお使いのかたは以下の手順は不要です。**

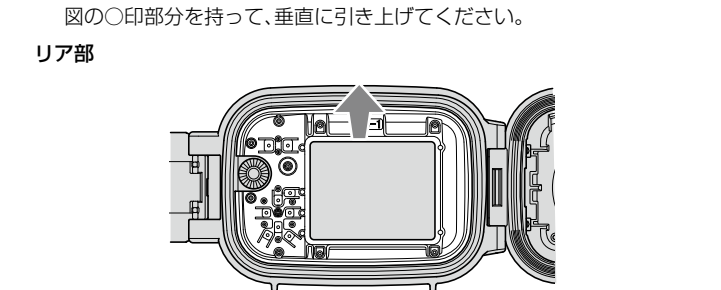
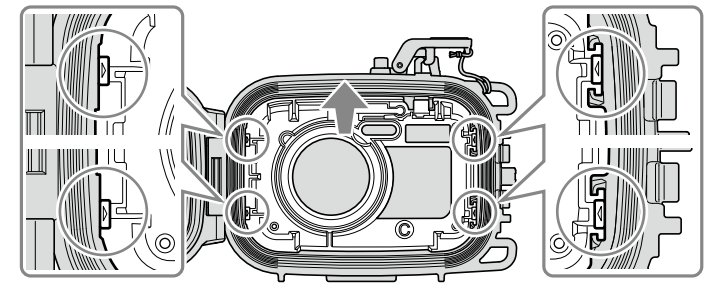
必ずカメラに対応したアタッチメントを取り付けてください。対応していないアタッチメントを取り付けると、カメラの故障や水漏れの原因になります。



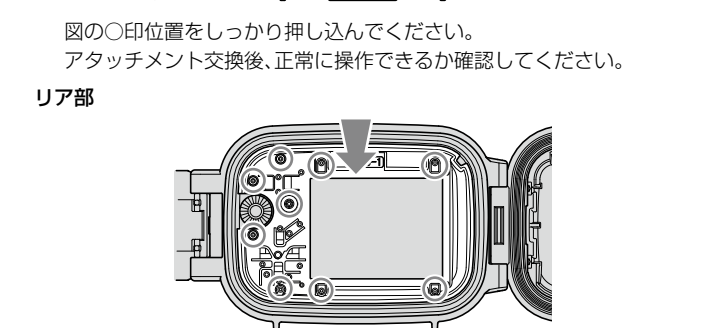
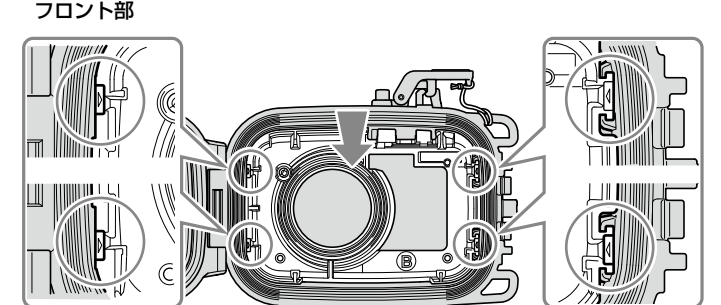
上下のOPENボタンを同時に押しながら④、バックルを矢印⑤の方向にはずし、本機の本ボディを開く。

ご注意
スプレーサは、本機を保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

- 2 アタッチメントを取り換える
- DSC-WX1用のフロントアタッチメントC、リアアタッチメントC-1を取りはずす



● お使いのカメラに合ったフロントアタッチメント、リアアタッチメントを取り付ける
イラストはDSC-W230のフロントアタッチメントB、リアアタッチメントB-1の取り付け例です。



* アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。

Oリングと防滴パッキンの準備

- Oリングを取りはずす。
 - Oリングにグリスを塗る。
- Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。

- Oリングを取り付ける。
- 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

ご注意

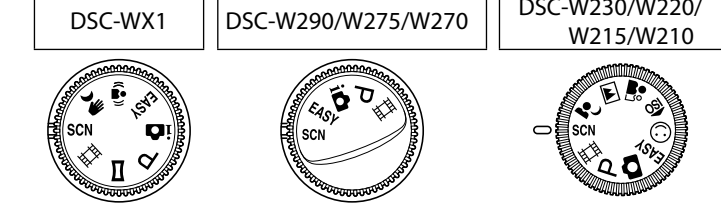
- 防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。
- 砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

デジタルスチルカメラの準備

カメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所での本機の開閉は、本機前部のくもりの原因となります。

- お使いのカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- カメラのストラップをはずす。
 - バッテリー、「メモリースティック デュオ」を入れる。十分に充電してあるバッテリーを入れてください。十分に容量のある「メモリースティックデュオ」を入れてください。
 - ON/OFF(電源)ボタンを押して、電源を入れる。
 - 撮影モードを選択する。

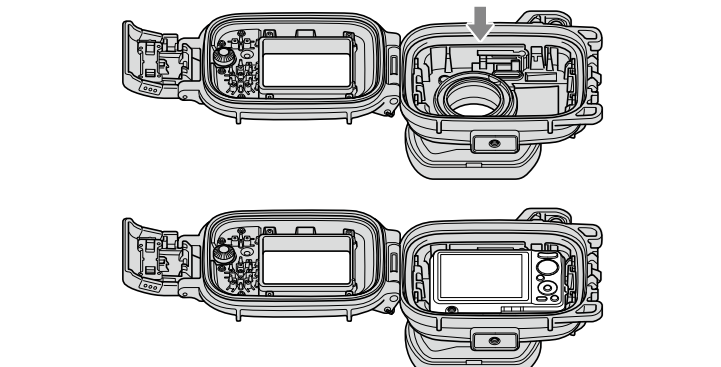


- 撮影モードの中にあるモードを選択する。
水中で静止画を撮影するときは、液晶画面上の●(水中)を選択してください。水中で動画を撮影するときは、MENUボタンを押してモード選択画面を表示し、液晶画面上の●(水中)を選択してください。(DSC-WX1/W290/W275/W270をご使用の場合のみ)
 - AF-イルミネーターを[切]にする。
AF-イルミネーターは使用できません。
 - レンズや液晶画面が汚れていないかを確認する。
- ご注意**
- DSC-WX1で連写/ブラケット撮影を設定する場合は、本機装着前に[連写/ブラケット]ボタンで設定してください。本機装着後は、[連写/ブラケット]ボタンでの設定変更はできません。
 - 水中動画撮影は、DSC-WX1/W290/W275/W270のみ対応で、DSC-W230/W220/W215/W210は対応しておりません。

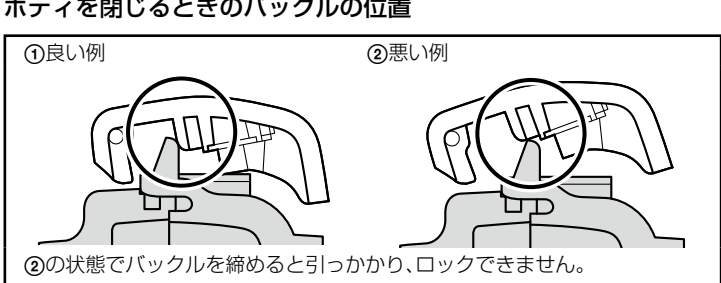
デジタルスチルカメラをマリパックに取り付ける

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。

- ON/OFF(電源)ボタンを押して、カメラの電源を切る。
- 本機にカメラを取り付ける。



- ボディを閉じて、バックルを締める。
ボディをしっかりと押しさえ、バックルがカチッと上下2箇所がロックされるまで押してください。



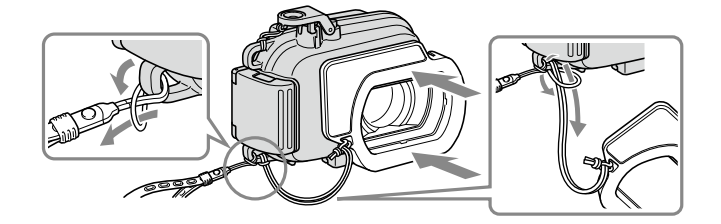
付属品を取り付ける

ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。

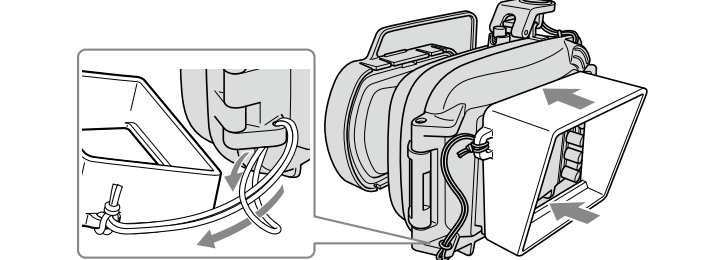
拡散板を取り付ける

フラッシュ撮影する場合は拡散板を使用します。フロントプロテクターに拡散板の爪がはまるように強く押し込みます。

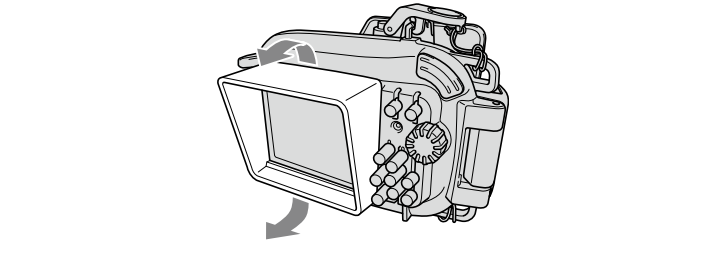


液晶フードの取り付け、取りはずしかた

- 付属の脱落防止ひもを取り付けてください。
- 図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込みます。



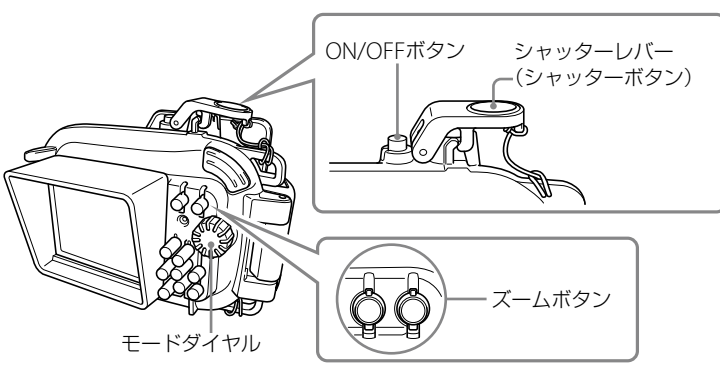
液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。



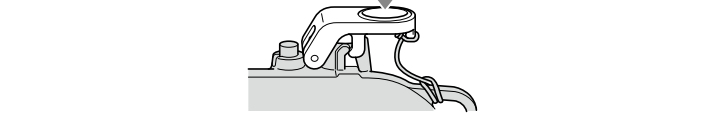
ご注意
本機の本ボディを閉じるときに、ストラップや脱落防止ひものはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

マリパックを使う

撮影する



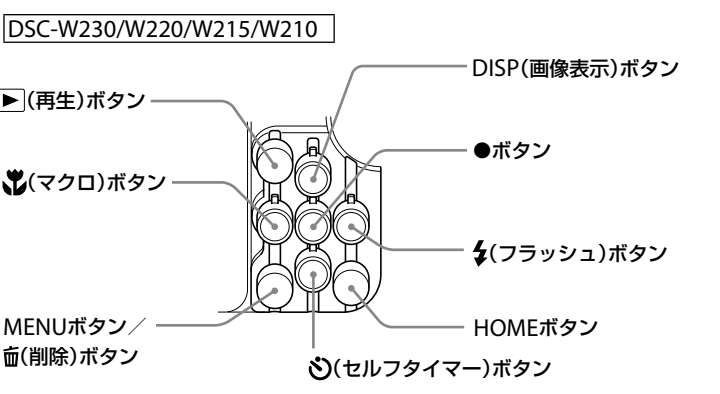
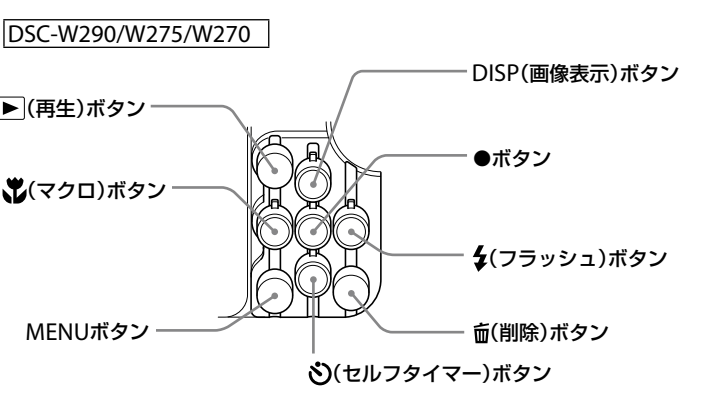
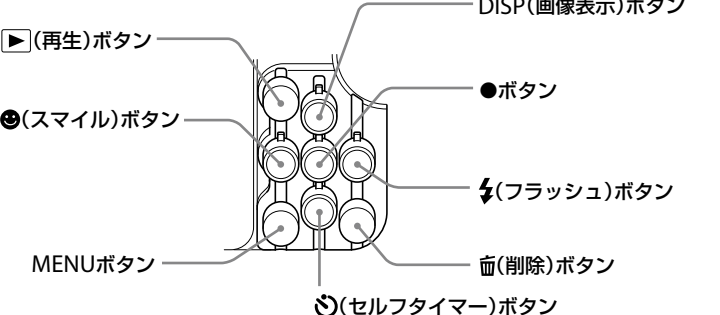
- 電源を入れる。
- シャッターレバー/シャッターボタンを押して撮影する。



さまざまな機能を使う/設定する

本機に取り付けた状態で、カメラのさまざまな機能を使うことができます。

DSC-WX1
※マクロへの切り換えなしで自動でピントが合います。



モードを選択する

本機のモードダイヤルで撮影モードを選択することができます。

静止画を撮影するとき … 其(動画撮影)以外のすべてのモード
動画を撮影するとき … 其(動画撮影)
※動画撮影時は音声を正常に記録することはできません。

撮影モードをSCN(シーンセレクション)または其(動画撮影)に設定したとき、各撮影モードの中にあるモードを選択することもできます。

DSC-WX1をお使いの場合
本機のMENUボタンを押し、(スマイル)ボタンまたは(フラッシュ)ボタンで希望のモードを選択してください。

DSC-W290/W275/W270/W230/W220/W215/W210をお使いの場合
本機のMENUボタンを押し、(マクロ)ボタンまたは(フラッシュ)ボタンで希望のモードを選択してください。

※水中で静止画撮影をするときは、シーンセレクションの中の●(水中)をお使いになることをおすすめします。また水中で動画撮影をするときは、動画撮影モードの中の●(水中)をお使いになることをおすすめします。(DSC-WX1/W290/W275/W270をご使用の場合のみ)

ご注意
水中動画撮影は、DSC-WX1/W290/W275/W270のみ対応で、DSC-W230/W220/W215/W210は対応しておりません。

水中ホワイトバランスを選択する
SCN(シーンセレクション)で●(水中)、または其(動画撮影)で●(水中)を選んでおいたときの色合いを調整します。

●(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
●(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
●(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
●(フラッシュ)	水中でのフラッシュ光に合わせる。
●(ワンプッシュ) *	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。
●(ワンプッシュ取込) *	[ワンプッシュ]での基準になる「白」を取り込む。

* DSC-WX1のみの機能です。

ご注意
DSC-WX1をお使いの場合
● [水中ホワイトバランス]の●(フラッシュ)は使用できません。
● フラッシュが[強制発光]の場合、水中ホワイトバランスは[オート]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
DSC-W290/W275/W270をお使いの場合
● [水中ホワイトバランス]の●(フラッシュ)は使用できません。
● フラッシュが[強制発光]のときは、[水中ホワイトバランス]は選べません。
DSC-W230/W220/W215/W210をお使いの場合
● ●(フラッシュ)以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[水中ホワイトバランス]は●(オート)になります。

※設定方法はお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

ズーム(W/T)ボタンを使う

押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。

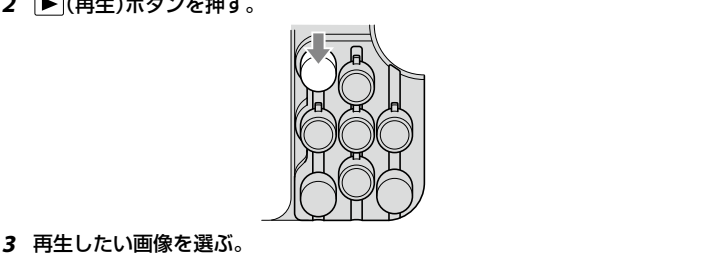
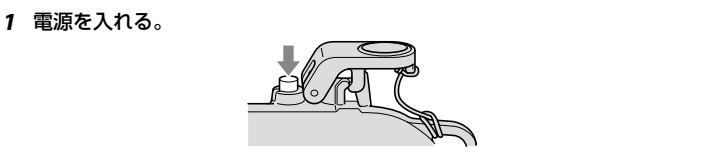
押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

撮影時のご注意

- 撮影一時停止状態が一定時間経くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 本機でフラッシュ撮影を行なう場合、状況によっては撮影距離が短くなる場合があります。
- 水中でフラッシュを発光すると、水中の浮遊物に反射して、多数の丸い光として撮影されてしまう場合があります。
- 撮影条件によっては、写り込みが発生する場合があります。そのような場合は撮影条件を変えてご使用ください。
- 本機では以下のボタンは操作できません。
- DSC-WX1の[連写/ブラケット]ボタン
連写/ブラケット撮影は、本機装着前に設定しておくこととご希望の撮影モードで撮影することができます。本機装着後の設定変更はできません。
- DSC-W290/W275/W270の●(スマイル)ボタン

再生する

本機の操作ボタンを使って、撮影した画像を液晶画面で見ることができます。このとき音声は聞こえません。

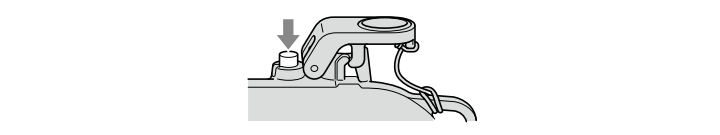


詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

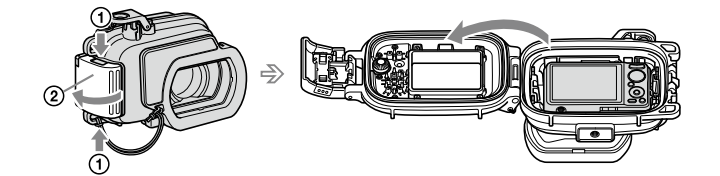
デジタルスチルカメラを取りはずす

1 電源を切る。

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。



- 上下のOPENボタンを同時に押しながら④、バックルを矢印⑤の方向にはずし、本機の本ボディを開く。



- カメラを取り出す。
長時間ご使用になったときは、カメラが熱くなります。電源を切ったしばらく放置したあとに、カメラを取り出してください。

カメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

- (水中)または●(水中)を解除する。
- AF-イルミネーターを[オート]にする。

ご注意
本機を開ける前に、本機を水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。本機を開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がカメラにかららないようにご注意ください。

ダイビングの前に

- 水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
- カメラは、ダイビングの前にあらかじめ本機に取り付け、船上や海岸などでの本機の開閉は、できるだけ避けてください。カメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。
- ご使用前に、本機の前後のボディの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょ。それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- 本機内部に水滴がつく
→ Oリングに傷やヒビが入っている場合は、新しいものと交換する。
→ Oリングを正しく装着する。
→ バックルをカチッとロックされるまで締める。
- 撮影ができない
→ バッテリーを十分に充電する。
→ 「メモリースティック デュオ」の残量がない場合、別の「メモリースティック デュオ」を入れる。または不要なデータを消す。
→ 「メモリースティック デュオ」の誤消去防止スイッチを戻す。または別の「メモリースティック デュオ」を入れる。
→ カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しいところに置く。
- 色がおかしい(水中での使用時)
→ ●(水中)または●(水中)に設定されているか確認する。
→ 水中ホワイトバランスを確認する。

主な仕様

- 材質**
プラスチック(PC、ABS)、ガラス
- 防水構造**
Oリング、バックル
- 耐圧**
水深40mまで
- 外部より操作可能なスイッチ**
ON/OFF(電源)、シャッター、ズーム(W/T)、MODE(モード)、コントロール、MENU、削除、HOME(DSC-W230/W220/W215/W210のみ)、再生
- 外形寸法(最大突起部を除く)**
約148×112×89mm(幅/高さ/奥行き)
- 質量**
約480g(本体のみ)
- 同梱物**
ウォーターブルーフケース(1)
ハンドストラップ(1)
液晶フード(1)
拡散板(1)
フロントアタッチメントC(1) *
リアアタッチメントC-1(1) *
* お買い上げ時にウォーターブルーフケースに装着されています。
フロントアタッチメントA(1)
リアアタッチメントA-1(1)
リアアタッチメントA-2(1)
フロントアタッチメントB(1)
リアアタッチメントB-1(1)
リアアタッチメントB-2(1)
グリス(1)
Oリング(1)
スプレーサ (1)
印刷物一式

仕割および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。